

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	科学と人間生活	単位数	2単位	学年・学科・コース	3年・衛生看護科
使用教科書	科学と人間生活（東京書籍）		副教材等	新課程 ニューサポート 科学と人間生活（東京書籍）	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。また、自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを、見通しをもって行うことなど通して理解し、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。	自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。

2. 学習計画及び評価標準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価標準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6	2編 物質の化学 1章 材料とその利用 1 リサイクルとは何か 2 金属の性質とその再利用 3 プラスチックの性質とその再生利用	<ul style="list-style-type: none"> 循環型社会を目指す必要性と3Rについて理解する。 金属と非金属の性質の違いを比較して、金属に特有の性質について理解する。 プラスチックや金属の再生利用の基本について理解し、その重要性について考える。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 3Rや循環型社会の利点や課題について理解している。 金属やプラスチックの再生利用の利点について、資料などを基に科学的に考察して見だし、表現している。 学んだことや生活経験を生かして、物質循環の実現に向けて、主体的に課題を考えることができる。 	定期考査 授業態度 授業ノート 課題
7 8 9	3編 光や熱の科学 2章 熱の性質とその利用 1 熱とは何か 2 エネルギーの利用と私たちの暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 熱の性質、エネルギーの変換と保存および有効利用について、日常生活と関連付けて理解する。 熱の性質とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 熱の性質、エネルギーの変換と保存および有効利用についての基本的な概念や原理・法則などを日常生活と関連付けて理解している。 熱の性質とその利用について、問題を見だし見通しをもち、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 熱の性質とその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 	定期考査 授業態度 授業ノート 課題
10 11 12 1	1編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象 1 ヒトの視覚と光による影響 4編 宇宙や地球の科学 2章 自然景観と自然災害 1 身近な自然景観の成り立ち 2 自然災害と防災	<ul style="list-style-type: none"> 視覚と光について、人間生活と関連付けて理解する。 日本における自然環境の特徴を理解し、それらがもたらす恩恵や災害など、人間生活が自然環境と深く関わっていることを学ぶ。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 日本列島における自然環境の特徴について理解している。 自然災害の起きる原因や条件を理解し、災害リスクを減らすための方法について総合的に判断し、それを表現することができる。 日本の自然環境がもたらす災害と恩恵について関心をもち、意欲的に学習しようとする。 	定期考査 授業態度 授業ノート 課題